

第66期 決算公告

2023年6月23日

香川県高松市塩屋町8番地1
四国興業株式会社
代表取締役社長 木内 照朗

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	428,414,614	流動負債	323,133,638
現金・預金	259,497,282	買掛金	13,798,865
売掛金	13,212,729	未払費用	158,854,186
棚卸資産	7,822,607	前受金	26,113,257
前払費用	1,851,923	預り金	44,513,193
未収収益	50,293,123	未払法人税等	17,911,800
未収法人税等	95,997,048	未払消費税	33,041,000
その他流動資産	1,643	賞与引当金	28,812,960
貸倒引当金	△ 261,741	その他流動負債	88,377
固定資産	2,967,129,462	固定負債	206,439,432
有形固定資産	1,535,427,020	社債	60,000,000
建物	293,386,203	預り敷金	113,363,032
建物附属設備	496,621,079	退職給付引当金	21,566,400
構築物	6,079,705	役員退職給付引当金	11,510,000
機械装置	10,228,244		
車輛	1	負債合計	529,573,070
什器備品	33,125,080	(純資産の部)	
一括償却資産	475,960	株主資本	2,865,971,006
土地	437,428,651	資本金	20,000,000
借地権	241,800,000	利益剰余金	3,421,431,006
建設仮勘定	16,282,097	利益準備金	5,000,000
無形固定資産	17,262,630	その他利益剰余金	3,416,431,006
電話加入権	1,451,754	別途積立金	2,325,000,000
ソフトウェア	15,810,876	繰越利益剰余金	1,091,431,006
投資その他の資産	1,380,165,844	自己株式	△ 575,460,000
投資有価証券	1,269,455,603	(当期純利益)	(764,827,817)
出資金(オペリース)	100,320,273		
差入保証金	10,369,048		
差入敷金	8,000		
預託金	12,920		
繰延資産	34,273,968		
長期前払保険料	34,273,968	純資産合計	2,865,971,006
資産合計	3,395,544,076	負債・純資産合計	3,395,544,076

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法……移動平均法による原価法

棚卸資産の評価基準及び評価方法……先入先出法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法

ただし、以下については定額法を採用している。

・平成10年4月1日以降に取得した建物

・平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物

一括償却資産……取得価額が10万円以上20万円未満の資産については、3年間で均等償却する方法を採用している。

無形固定資産……定額法

3. 引当金の計上基準

賞与引当金……従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上している。

退職給付引当金……役職員の退職給付に備えるため、当社所定の退職金規定に基づき、期末日における必要額を計上している。

貸倒引当金……売上債権その他これに準ずる債権の貸倒れによる損失に備えるため、債権に対し法定繰入率により引き当てている。

4. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

5. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜き方式によっている。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 1,069,054,703円

III. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 1,042,550.38 銭

1株当たり当期純利益 201,206.35 銭

IV. 吸収合併に関する注記

当社と神戸広島ビル株式会社及び株式会社新岡山ビルディングとの合併

当社は、2022年11月24日付の合併契約に基づき、2023年4月1日に当社を存続会社とし、神戸広島ビル株式会社及び株式会社新岡山ビルディングを吸収合併いたしました。

第63期 決算公告

2023年6月23日

香川県高松市塩屋町8番地1
 四国興業株式会社
 (被合併法人 神戸広島ビル株式会社)
 代表取締役社長 木内 照朗

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	341,052,724	流動負債	48,229,375
現金・預金	256,649,243	1年以内返済長期借入金	25,500,000
未収入金	338,854	未払消費税	7,892,200
未収法人税等	80,809,442	未払法人税等	391,000
前払費用	3,215,613	未払費用	232,384
その他流動資産	39,572	前受金	12,629,991
		賞与引当金	1,583,800
固定資産	1,402,546,319	固定負債	458,688,388
有形固定資産	1,096,376,498	長期借入金	312,500,000
建物	303,655,230	敷金	145,940,788
建物附属設備	130,755,031	退職給付引当金	247,600
構築物	137,640		
機械及び装置	8,257,923		
器具・備品	3,263,481	負債合計	506,917,763
土地	650,307,193	(純資産の部)	
無形固定資産	308,355	株主資本	1,236,681,280
電話加入権	308,355	資本金	23,712,500
投資等その他の資産	305,861,466	資本剰余金	2,077,300
投資有価証券	305,611,466	その他資本剰余金	2,077,300
差入敷金保証金	250,000	利益剰余金	1,654,191,480
		利益準備金	5,928,125
		その他利益剰余金	1,648,263,355
		別途積立金	1,251,000,000
		繰越利益剰余金	397,263,355
		自己株式	△ 443,300,000
		(当期純利益)	(494,613,327)
		純資産合計	1,236,681,280
資産合計	1,743,599,043	負債・純資産合計	1,743,599,043

当社は2023年4月1日付で、当社を存続会社、神戸広島ビル株式会社を消滅会社として吸収合併いたしました。当社は、存続会社として上記神戸広島ビル株式会社の決算公告を行うものです。

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のあるもの……移動平均法による原価法

イ 時価のないもの……移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定額法

無形固定資産 法人税法の規定による定額法

3. 引当金の計上基準

賞与引当金……従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額により計上しています。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

5. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっています。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 901,435,588円

III. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 37,333.77 銭

1株当たり当期純利益 10,954.16 銭

IV. 重要な後発事象に関する注記

当社と神戸広島ビル株式会社との合併

2022年11月24日付の合併契約に基づき、2023年4月1日に当社を存続会社として合併し、神戸広島ビル株式会社は消滅いたしました。

第51期 決算公告

2023年6月23日

香川県高松市塩屋町8番地1
四国興業株式会社
(被合併法人 株式会社新岡山ビルディング)
代表取締役社長 木内 照朗

貸借対照表 (2023年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	414,601,246	流動負債	74,111,690
現金・預金	408,906,661	1年以内返済予定長期借入金	31,800,000
未収入金	1,891,275	未払費用	2,938,029
商品	1,225,260	未払法人税等	9,878,400
前払費用	2,578,050	未払事業税	3,330,800
		未払消費税	6,424,200
固定資産	740,053,311	前受金	17,032,773
有形固定資産	669,561,053	賞与引当金	2,707,488
建物	308,110,643		
建物附属設備	330,783,312	固定負債	338,253,956
構築物	3,760,089	長期借入金	144,400,000
器具・備品	2,797,342	敷金	192,871,401
一括償却資産	109,667	退職給付引当金	982,555
借地権	24,000,000		
無形固定資産	587,200	負債合計	412,365,646
電話加入権	587,200	(純資産の部)	
投資その他の資産	69,905,058	株主資本	742,288,911
投資有価証券	69,693,058	資本金	100,000,000
差入敷金保証金	212,000	利益剰余金	642,288,911
		利益準備金	20,250,000
		その他利益剰余金	622,038,911
		別途積立金	285,000,000
		繰越利益剰余金	337,038,911
		(当期純利益)	(49,226,990)
		純資産合計	742,288,911
資産合計	1,154,654,557	負債・純資産合計	1,154,654,557

当社は2023年4月1日付で、当社を存続会社、株式会社新岡山ビルディングを消滅会社として吸収合併いたしました。当社は、存続会社として上記株式会社新岡山ビルディングの決算公告を行うものです。

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のあるもの……移動平均法による原価法

イ 時価のないもの……移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法 1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)

定額法 2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物

一括償却資産 3年均等償却

無形固定資産 法人税法の規定による定額法

3. 引当金の計上基準

賞与引当金……従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

退職給付引当金……従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額により計上しています。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

5. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっています。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 2,224,842,757円

III. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 3,711.44 銭

1株当たり当期純利益 246.13 銭

IV. 重要な後発事象に関する注記

当社と株式会社新岡山ビルディングとの合併

2022年11月24日付の合併契約に基づき、2023年4月1日に当社を存続会社として合併し、株式会社新岡山ビルディングは消滅いたしました。